

《埼玉協同病院だより》

# ふれあい

2018年 No.363

発行：医療生協さいたま  
埼玉協同病院

〒333-0831 川口市木曾呂1317  
TEL.048-296-4771  
FAX.048-296-7182

ホームページ：http://www.kyoudou-hp.com

# 1

2018年 新年挨拶

40周年記念  
これからも  
地域医療の発展に  
貢献します

あけましておめでとうございます。新しい年をどのようにお迎えでしょうか？

2018年は特別な年になります。4月には6年振りに診療報酬と介護報酬が同時に改訂されます。国民、医療・介護機関双方にとって大変厳しい内容になると予想する識者が多いようです。国民健康保険の都道府県化や介護保険制度の大きな改定がある年でもあります。患者・利用者にとってはあまり嬉しくない内容になっており、「医療・介護難民」が膨れ上がる危惧が指摘されています。そして医師の専門医制度が新しく生まれ変わります。この数年間、様々議論されてきましたが、結局、大学や大病院に都合がよい制度になりそうで、地域の一般病院の診療継続を不安視する声が全国から上がっています。こうしてみるとあまり良い年にならないように聞こえるかも知れませんが、いつの世も、良くないものは改善する、という気概を持って取り組むのが私たちのやり方です。皆さんとまた一緒に奮闘する一年にしたいと思っています。

さて、もうひとつ重要な「特別」があります。1978年に誕生した埼玉協同病院がめでたく40歳を迎えることになりました。まだ病院の周りに家も少なく道路も未整備だったあ

の40年前に、地域住民の熱い期待を受けて誕生した当院ですが、多くの医療生協組合員や近隣の同業者の皆さんに支えられて、今では地域に無くてはならない病院として成長してきたと自負しています。支えて下さった住民・患者の皆様と身体をはって病院の発展に尽力してこられた諸先輩方に感謝し、ともにこの誕生日を祝いたいと思います。

吾十有五にして学に志し(志学)、三十にして立ち(而立)、四十にして惑わず(不惑)、五十にして天命を知る(知命)、六十にして耳順い(耳順)、七十にして心の欲する所に従いて矩を踰えず(従心)

有名な孔子の「論語」の一節です。この「四十にして惑わず」は、「自分の生き方に迷うことなく突き進め」ではなく、「何が起きても動じることなく、事態を受け入れ、堂々と対処していく」という意味だと思います。「不惑」になった埼玉協同病院が、目の前の様々な困難に怯むことなく、地域医療の発展の為に大奮闘する、そんな一年にしたいと決意しております。どうか宜しくお願い致します。



院長 増田 剛



## こちら HPH

※HPHは、健康増進を患者様・地域住民・病院職員にすすめていくWHO（世界保健機構）が推奨する国際的な病院ネットワークです。

勉強しよう

## カルテの読み方

患者と医療者のコミュニケーションを促進することを目的とした患者用電子カルテ端末「マイかるて」は、現在2,000人以上の方がパスワードを登録しています。2015年から、医療記録の読み方講座を開き記録の考え方・読み方を学習し、自分の記録に自分の伝えたことが書いてあるか、計画は説明されたことと違ってないか、わからない言葉はなかったかなどについてチェックし、意見を寄せていただくとりくみを進めてきました。

出されたたくさんの意見、提案をもとに待合室へ患者メモを設置、検査結果の見方や医

療用語の解説集の作成などの改善をしてきました。

このとりくみを昨年11月に行われた

「医療の質・安全学会学術集会」(千葉幕張)の、「患者参加が生み出す新たなコミュニケーション～good practiceから考える医療安全のためのパートナーシップ～」というシンポジウムで報告しました。



## 冬の歯の定期検診

空気の乾燥が気になる季節になりました。湿度が下がり、口の中も乾燥します。体が適正な温度に保つため常にエネルギーを消費し続けることで、水分が使われ皮膚からの蒸発とともに口の中の乾燥もおこります。

口の乾燥から「臭う」「ネバつく」「入れ歯があわない・ゆるい」など口のトラブルも多く聞かれます。

唾液には、口の中に入ったウイルスや風邪の細菌を洗い流せるという効果もあります。歯みがきで清潔にすることは、唾液が良く出るようにうながすことになります。

その方にあったケア用品の選択や歯みがきのセルフケアは、歯科医師・歯科衛生士の指導が必要です。

症状がなくても歯科の定期検診にかかりましょう。

(歯科衛生士 加藤理香)

健康な歯は宝もの



2017年度

## 医療懇談会を開催します

今年も医療懇談会の時期となりました。昨年度は22支部が開催し、組合員391名が参加しました。昨年はテーマを「地域の健康づくりの拠点を一緒につくろう！」とし、これからの支部の役割が共有できる内容になりました。また、開催した支部に医師が参加し、そこでは、日々の診療を通じて組合員に伝えたいことや組合員から医師に聞きたいことなどを気軽に話し合うことができました。



今年度も「利用しやすい病院づくり」を合言葉に、支部ごとに懇談会を開催します。「患者の権利(仮)」をテーマに、組合員・地域の方々の願いに応える病院づくりをめざして、医療生協活動のヒントを考える機会にしたいと思えます。

開催時期：支部ニュースでお知らせします。

共通テーマ：「患者の権利(仮)」

※どなたでもご参加ください。

## 眼科外来からのお知らせ

現在、眼科の予約枠に空きがございます。次の症状がある方は当院眼科をご予約下さい。

- 最近、物が見えづらくなってきた方
- 糖尿病・高血圧の方
- その他、気になる症状のある方

※急激な症状の患者様以外は予約制となっております。

